

2 0 2 4 年度
第 8 回 理事会議事録

2 0 2 5 年 1 月 1 7 日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2024年度 第8回理事会議事録

1. 日 時 2025年 1月 17日 (金) 11:30～13:40

2. 場 所 鉄鋼会館 802号室

3. 構 成 員 14名

4. 出席構成員 13名 (別紙 出席者名簿参照)

5. 議 事 次 第

- (1) 開会の辞
- (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
- (3) 会長挨拶
- (4) 前回理事会議事録の確認
- (5) 報告事項
 - 1) 2025年賀詞交歓会等実施について
 - 2) 委員会等活動状況報告
 - ① 運営委員会
 - ② 技術委員会
 - ③ 図面問題対応検討WG
 - ④ 一次加工品質管理WG
 - ⑤ 外部団体との意見交換会対応WG
 - ⑥ 人づくり研修 (研修実施概況)
 - 3) その他
 - ① 管理責任者等の届出関連
 - ② 教育センターへの要望関連
- (6) その他の定例報告事項
 - 1) 構成員登録状況
 - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
 - 3) 2024年度主要会議日程
 - 4) 支部報告
- (7) 閉会の辞

6. 議 事 要 旨

(1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

(2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は妹尾理事が欠席し 13 名の理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

尚、本理事会には、妹尾理事（中国支部）の代理出席者として登録されている協同組合鳥取県鉄構工業会 倭島理事長が代理出席した。

(3) 会長挨拶

永井会長より「あけましておめでとうございます。本日は、賀詞交歓会まで、終日の対応となりますが、よろしくお願いします。また、各委員会の活動も本格化してきました。引続きご協力をお願いします。」との挨拶があった。

(4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、2024 年度第 7 回理事会の要点を読み上げ、確認了承された。

(5) 報告事項

1) 2025 年賀詞交歓会等実施について

本日開催される全国理事長会、新年賀詞交歓会の実施について、議案書（p3-4）に沿って説明があり、確認された。

2) 委員会等活動状況報告

①運営委員会

運営委員会について、議案書（p5-6）に沿って内容が説明され、確認された。

- ・ 理事会からの諮問テーマについては分科会を設置し検討を進めている。
- ・ 快適職場関連では、ファブに適した認定制度の検討を行っている。
- ・ 共済制度関係は、現在行っている事業（サービス、商品）の内容について、あらためて評価・共有化をして上で、課題と対応策を検討する方針。
- ・ 人材育成への対応については、今後の方向性を検討中。
- ・ 各課題については、3 月を目途に取り纏めを行っていく予定。

[業界動向調査結果報告]

- ・ 従業員数、特に女性の職種別の人数等と生産トン数について、追加の調査と確認を行った旨報告があった。
- ・ 別紙の業界動向調査の資料に沿ってポイントが説明された。

②技術委員会

技術委員会について、議案書（p7-8）に沿って、岩永委員長より内容が説明され、確認された。

- ・検査基準マニュアルの誤植の修正内容について報告があった。
別冊「基準マニュアル集修正箇所新旧対照表」についても紹介された。
- ・溶接施行 WG については予算の増額内容について整理を行っている。
- ・機械メーカー等との連携による生産性向上施策の検討については、ヒアリング調査を行い取り纏め中。
- ・S 造化の推進については、「木との比較」視点で検討すべく、鉄連と相談していく方向。

③図面問題対応検討 WG

図面問題対応検討 WG について、議案書（p9）と別冊資料に沿って、小貫専務から説明され、議論された。内容は以下の通り。

- ・本日の理事長会の説明用資料として「契約編」と「法令編」の2分冊、説明会用のPPT資料、ここまで実施した説明会時に出た質問等についてまとめたQ&A資料の4つを準備している。
- ・1次説明会の実施状況、今後の日程、2次説明会用資料の送付状況、プレス発表、HPへの掲載等について報告された。
- ・1次説明会時の質疑をまとめたQ&Aの資料に沿ってポイントが説明され、確認された。

④一次加工品質管理 WG

一次加工品質管理 WG について、議案書（p10-12）に沿って、岩永リーダーより内容が説明され、確認された。

- ・「構成員向けアンケート」の結果が報告された。内容的には、地域、グレードによる偏りが確認されており、整理・分析を進めている。
- ・今後は、アンケート結果を分かり易くまとめた上で理事会に報告し、検討の方針を整理していく。
- ・一次加工品の「精度管理基準」の作成を進めているとの報告もあった。
- ・岩永委員長からは重要な案件であり拙速にならない様、理事会で相談させていただきながら慎重に進めたいとの説明があった。
- ・理事会出席者から、「現状重大な問題は認識していないこともあり、大きな負担が生じない様配慮していただきたい」との意見があった。

⑤外部団体との意見交換会対応 WG

外部団体との意見交換会対応 WG の活動について、議案書（p13-14）に沿って、

登尾リーダーより内容が説明され、確認された。

- ・今後の活動として、以下の２つの内容について対応を進める。
 - 「各支部の意見交換の実態を確認し水平展開する」
 - 「設計者団体・元請団体等の外部団体との意見交換を実施する」
- ・意見交換会の実態調査用のシートの内容について協議を進めており、理事会で承認をいただいた上で、実際の調査にはいきたいとの報告があった。

⑥人づくり研修（研修実施概況）

７支部で開催された人づくり研修について、資料に沿って実施概況等について、報告があった。

3) その他

①管理責任者等の届出関連

管理責任者等の変更の届出の件について、本日の理事長会の場で、永井会長より、あらためて喚起する旨報告があった。

内容的には、管理責任者等の届出の変更の件については、単なる届出様式の変更の話ではなく、品質管理体制の維持・確保に関わる重要な問題であるとの趣旨で発言される予定。

②教育センターへの要望関連

全構協から、鉄骨技術者教育センターに提出した要望について、以下の回答があった。

- ・「鉄骨製作管理技術者問題文及び教本の漢字にルビを振る件」については、対応を見合わせるとの回答があった。
- ・「鉄骨製作管理技術者（資格）」の講習・試験の 日程・会場変更対応に関する要望の件」については、その年度のスケジュールの範囲内での受講日・受講地の変更を認めるとの回答があった。

(6) その他の定例報告事項

1) 構成員登録状況

本日現在の構成員数は、前回報告時(11月19日)より４社減少し、2,149社であること等が、議案書(p19-23)により報告された。

2) 着工面積と推計鉄骨需要量

4-11月の鉄骨推定所要量は、253万2千トン、前年比95.8%となった。

3) 2024 年度主要会議日程

主要会議日程が、議案書(p25)により確認された。

4) 支部報告

〔北海道〕

- ・北海道全体として大きな変化はない。仕事量、稼働率ともに停滞気味であり、中小の案件は引き続き少ない。その中で、札幌等の道央地区では、再開発案件が動き出すとの情報もあり、期待している。

〔東北〕

- ・ここ数ヶ月特に変化はなく、芳しくない状況が続いている。単価的には、何とか維持に努め、踏ん張っている状態。PSMC の撤退については、影響が出ていると思う。

〔関東〕

- ・仕事の的にはかなり偏りもあり、融通しながら対応している状況。
- ・資材の高騰等の影響もあり、案件の不調、計画変更が出ている。
- ・公共物件を中心に木造化が進められているが、あらためてS造化についてきちんと対応する必要がある。

〔北陸〕

- ・前回報告から大きな変化なく、仕事が少ない状態。鋼材、副資材の高騰もあり、地元物件は非常に厳しい。
- ・当面は、忙しい時期には出来ない様な、災害時対応や人材育成教育等をやりながら、耐えていくしかない。来年 2026 年は、仕事が沢山出てくると期待している。

〔中部〕

- ・仕事が少なく、かなり安い価格も出ている。
- ・とにかく、地域で連携して凌いでいくしかない状況。

〔近畿〕

- ・大きな変化はなく、仕事は少なく低迷状態。年明け以降、一段と厳しくなっている。現時点、回復の兆しは感じられない、夏が超えられるか心配。
- ・来年以降の仕事の情報はあっても、はたして本当に出るのかという心配もあり、組合とか仲間で協力して乗り越えるしかない。
- ・災害時対応等を確認しつつ、今は我慢の時間。

〔中国〕

- ・見積り物件は極端に少ない。グレード間の仕事量にバラツキがあるので、県を超えてやり繰りしながら凌いでいる。

〔四国〕

- ・大きな変化なし。足元は、より厳しくなっていると感じている。
- ・地域で連携し、価格を維持しながら頑張っていきたい。

〔九州〕

- ・九州も他地域同様あまり良くないし、安値も散見されるが、雰囲気的にはそこまで慌てていないと感じている。但し、中小規模のファブは仕事を確保するのに苦労している状態。
- ・ゼネコンは、人手不足の影響もあり選択受注をしている様で、価格的にはそれ程崩れていないと認識している。
- ・夏に向けて足下は厳しいが、先々はそれなりに仕事ありそう。九州は、他地域に比べるとまだ環境は良いと認識しており、価格を維持しながら、頑張っていきたい。

(7) 閉会の辞

以上をもって、報告事項等、予定された事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

出席者名簿

会 長	永	井	毅
副 会 長	大	竹	良 明
〃	板	垣	昌 之
専務理事	小	貫	武
理 事	竹	原	慎 雅
〃	三	浦	隆 宏
〃	安	達	次 雄
〃	前	田	正 美
〃	稲	垣	法 信
〃	佐	野	勝 也
〃	登	尾	昌 弘
〃	岩	永	洋 尚
理 事(相談役)	米	森	昭 夫
監 事	村	上	眞 樹
〃	吉	岡	晋 吾

理事総数 14名 うち出席者 13名 [欠席：妹尾理事]
監事総数 2名 うち出席者 2名